

2018年11月8日

上場会社名 株式会社アルファ

上場取引所 東

コード番号 3434 URL <http://www.kk-alpha.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川名 祥之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 斉藤 雄一

TEL 045-787-8401

四半期報告書提出予定日 2018年11月9日

配当支払開始予定日

2018年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無 (機関投資家・アナリスト向け個別ミーティング有)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	28,740	1.1	1,471	8.8	1,450	15.6	1,163	2.2
2018年3月期第2四半期	29,073	26.6	1,613	33.0	1,718	613.2	1,189	

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 17百万円 (%) 2018年3月期第2四半期 1,626百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	121.77	
2018年3月期第2四半期	124.47	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第2四半期	51,623	28,218	53.2	2,875.17
2018年3月期	53,610	28,546	51.7	2,903.22

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 27,465百万円 2018年3月期 25,075百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		15.00		25.00	40.00
2019年3月期		15.00			
2019年3月期(予想)				25.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	1.6	3,300	2.7	3,200	2.6	2,100	3.7	219.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年3月期2Q	10,200,000 株	2018年3月期	10,200,000 株
2019年3月期2Q	647,477 株	2018年3月期	647,477 株
2019年3月期2Q	9,552,523 株	2018年3月期2Q	9,552,523 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(連結納税制度の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は287億40百万円と前年同四半期に比べ、3億33百万円（△1.1%）の減収となりました。利益につきましては、営業利益は14億71百万円と前年同四半期に比べ、1億42百万円（△8.8%）の減益となりました。経常利益は14億50百万円と前年同四半期に比べ、2億68百万円（△15.6%）の減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、11億63百万円と前年同四半期に比べ、25百万円（△2.2%）の減益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 自動車部品事業（日本）

自動車部品事業（日本）におきましては、主要得意先の生産台数が減少したため、売上高は57億8百万円と前年同四半期に比べ、3億82百万円（△6.3%）の減収、営業損失は1億10百万円（前年同四半期は営業損失92百万円）となりました。

② 自動車部品事業（北米）

自動車部品事業（北米）におきましては、主要得意先の生産台数が減少したため、売上高は69億66百万円と前年同四半期に比べ、2億33百万円（△3.2%）の減収、営業利益は4億99百万円と前年同四半期に比べ、1億55百万円（△23.7%）の減益となりました。

③ 自動車部品事業（アジア）

自動車部品事業（アジア）におきましては、中国国内の販売好調などにより、売上高は101億88百万円と前年同四半期に比べ、6億47百万円（6.8%）の増収、固定費や材料費の増加影響などにより、営業利益は4億90百万円と前年同四半期に比べ、1百万円（0.2%）の増益となりました。

④ 自動車部品事業（欧州）

自動車部品事業（欧州）におきましては、売上高は37億15百万円と前年同四半期に比べ、5億67百万円（△13.2%）の減収、営業利益は14百万円と前年同四半期に比べ、12百万円（771.2%）の増益となりました。

⑤ セキュリティ機器事業（日本）

セキュリティ機器事業（日本）におきましては、賃貸住宅の着工戸数減少の影響を受けたものの、戸建て住宅向け電気錠の販売が順調に推移し、またインバウンドによるコインロッカーオペレーション収入が増加したことなどにより、売上高は42億87百万円と前年同四半期に比べ、2億34百万円（5.8%）の増収となりましたが、売上構成比やパーツとの為替影響などにより、営業利益は3億60百万円と前年同四半期に比べ、63百万円（△15.0%）の減益となりました。

⑥ セキュリティ機器事業（海外）

セキュリティ機器事業（海外）におきましては、売上高は21億88百万円と前年同四半期に比べ、3億13百万円（16.7%）の増収、営業利益は1億60百万円と前年同四半期に比べ、24百万円（17.6%）の増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は516億23百万円となり、前連結会計年度末に比べ、19億86百万円の減少となりました。また、有利子負債は前連結会計年度末に比べ、3百万円減少し、119億90百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が8億89百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が7億78百万円減少したことや、原材料及び貯蔵品が5億46百万円減少したこと等により、4億46百万円減少し、279億76百万円となりました。

固定資産は、投資有価証券が7億93百万円減少、有形固定資産が1億44百万円減少、無形固定資産が1億75百万円減少したこと等により、15億41百万円減少し、236億26百万円となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金が6億59百万円減少したことや、短期借入金金が4億6百万円減少したこと等により、11億50百万円減少し、150億86百万円となりました。

固定負債は、長期借入金金が3億93百万円増加しましたが、その他が9億86百万円減少したこと等により、5億8百万円減少し、83億19百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が9億24百万円増加しましたが、その他有価証券評価差額金が4億82百万円減少したことや、為替換算調整勘定が7億9百万円減少したこと等により、3億28百万円減少し、282億18百万円となりました。以上により、自己資本比率は前連結会計年度末の51.7%から1.5ポイント増加し、53.2%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フローが21億19百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが2億28百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが4億71百万円の支出となりました。

以上の結果、換算差額を含めた当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前第2四半期連結会計期間末に比べ3億79百万円増加し、80億5百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

投資有価証券売却損益が3億13百万円減少し、売上債権の増減額が1億76百万円減少しましたが、仕入債務の増減額が4億47百万円増加したこと等により、当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間に比べ、1百万円収入が増加し、21億19百万円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出が6億23百万円増加しましたが、定期預金の預入による支出が4億64百万円減少したことや、保険積立金の解約による収入が3億97百万円増加したこと等により、当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間に比べ、10百万円支出が減少し、2億28百万円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

社債の発行による収入が8億39百万円減少しましたが、短期借入金による増減額が10億11百万円増加したことや、長期借入れによる収入が11億50百万円増加したこと等により、当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間に比べ、14億44百万円支出が減少し、4億71百万円の支出となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の連結業績予想につきましては、2018年5月10日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,244	8,133
受取手形及び売掛金	12,517	11,738
商品及び製品	1,817	1,808
仕掛品	832	860
原材料及び貯蔵品	4,396	3,849
その他	1,616	1,587
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	28,423	27,976
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,911	4,645
機械装置及び運搬具（純額）	5,094	5,157
工具、器具及び備品（純額）	2,112	1,968
土地	1,588	1,552
その他（純額）	2,620	2,860
有形固定資産合計	16,329	16,184
無形固定資産		
のれん	1,022	909
その他	790	727
無形固定資産合計	1,812	1,637
投資その他の資産		
投資有価証券	5,414	4,620
その他	1,611	1,183
投資その他の資産合計	7,026	5,804
固定資産合計	25,167	23,626
繰延資産	19	20
資産合計	53,610	51,623
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,878	6,219
短期借入金	3,706	3,300
未払法人税等	398	542
賞与引当金	573	569
製品保証引当金	68	63
その他	4,611	4,391
流動負債合計	16,236	15,086
固定負債		
社債	1,195	1,280
長期借入金	4,636	5,029
退職給付に係る負債	73	72
資産除去債務	42	42
その他	2,880	1,893
固定負債合計	8,827	8,319
負債合計	25,064	23,405

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,760	2,760
資本剰余金	2,952	2,952
利益剰余金	17,762	18,686
自己株式	△578	△578
株主資本合計	22,896	23,820
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,193	2,710
為替換算調整勘定	1,643	933
その他の包括利益累計額合計	4,836	3,644
非支配株主持分	813	753
純資産合計	28,546	28,218
負債純資産合計	53,610	51,623

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	29,073	28,740
売上原価	23,530	23,772
売上総利益	5,543	4,967
販売費及び一般管理費	3,929	3,496
営業利益	1,613	1,471
営業外収益		
受取利息	30	31
受取配当金	57	63
不動産賃貸料	10	10
助成金収入	10	56
為替差益	68	—
その他	75	50
営業外収益合計	254	212
営業外費用		
支払利息	97	76
支払報酬	29	9
保険解約損	—	62
為替差損	—	66
その他	21	19
営業外費用合計	149	234
経常利益	1,718	1,450
特別利益		
固定資産売却益	0	11
投資有価証券売却益	—	313
特別利益合計	0	324
特別損失		
固定資産売却損	0	5
固定資産除却損	5	11
その他	0	0
特別損失合計	5	17
税金等調整前四半期純利益	1,714	1,757
法人税、住民税及び事業税	578	688
法人税等調整額	△92	△134
法人税等合計	485	554
四半期純利益	1,228	1,203
非支配株主に帰属する四半期純利益	39	40
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,189	1,163

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2017年4月1日 至 2017年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）
四半期純利益	1,228	1,203
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	289	△482
為替換算調整勘定	108	△738
その他の包括利益合計	397	△1,220
四半期包括利益	1,626	△17
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,600	△29
非支配株主に係る四半期包括利益	26	11

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,714	1,757
減価償却費	1,081	1,181
受取利息及び受取配当金	△88	△95
支払利息	97	76
投資有価証券売却損益（△は益）	—	△313
固定資産売却益	△0	△11
固定資産除売却損	5	17
賞与引当金の増減額（△は減少）	△11	△1
製品保証引当金の増減額（△は減少）	△15	△6
売上債権の増減額（△は増加）	739	562
たな卸資産の増減額（△は増加）	421	357
仕入債務の増減額（△は減少）	△917	△470
長期未払金の増減額（△は減少）	△20	△10
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	0	2
その他	△306	△85
小計	2,699	2,960
利息及び配当金の受取額	88	60
利息の支払額	△100	△50
米国反トラスト法関連損失の支払額	—	△288
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△569	△563
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,117	2,119
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△582	△117
定期預金の払戻による収入	1,067	470
有形固定資産の取得による支出	△865	△1,489
有形固定資産の売却による収入	109	179
無形固定資産の取得による支出	△42	△68
投資有価証券の取得による支出	△9	△9
投資有価証券の売却による収入	67	420
保険積立金の解約による収入	—	397
その他	17	△10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△239	△228
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額（△は減少）	△1,394	△382
長期借入れによる収入	750	1,900
長期借入金の返済による支出	△1,862	△1,563
社債の発行による収入	1,135	296
社債の償還による支出	△70	△155
配当金の支払額	△143	△238
非支配株主への配当金の支払額	△89	△76
その他	△241	△250
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,915	△471
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△117
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△39	1,301
現金及び現金同等物の期首残高	7,665	6,704
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,625	8,005

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（追加情報）

（「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

（連結納税制度の適用）

当社及び国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間より、連結納税制度を適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2017年4月1日 至 2017年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 部品事業 (日本)	自動車 部品事業 (北米)	自動車 部品事業 (アジア)	自動車 部品事業 (欧州)	セキュリテ ィ機器事業 (日本)	セキュリテ ィ機器事業 (海外)	計		
売上高									
外部顧客への売上高	4,622	7,032	8,820	4,251	4,030	316	29,073	—	29,073
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,469	168	720	31	23	1,558	3,971	△3,971	—
計	6,091	7,200	9,541	4,283	4,053	1,874	33,044	△3,971	29,073
セグメント利益又は損失(△)	△92	655	489	1	424	136	1,615	△1	1,613

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1百万円は、セグメント間取引消去△1百万円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 部品事業 (日本)	自動車 部品事業 (北米)	自動車 部品事業 (アジア)	自動車 部品事業 (欧州)	セキュリテ ィ機器事業 (日本)	セキュリテ ィ機器事業 (海外)	計		
売上高									
外部顧客への売上高	3,991	6,888	9,800	3,371	4,271	417	28,740	—	28,740
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,716	78	388	344	16	1,770	4,315	△4,315	—
計	5,708	6,966	10,188	3,715	4,287	2,188	33,055	△4,315	28,740
セグメント利益又は損失(△)	△110	499	490	14	360	160	1,415	55	1,471

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額55百万円は、セグメント間取引消去55百万円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。